

日産車体株式会社 株主総会議事要旨

日時：2025年6月26日 10時～11時

場所：日産車体株式会社本社

1. 議長（富山社長）から、報告事項の説明
2. 議長（富山社長）から、決議事項の説明
3. 質疑応答（以下は、ストラテジックキャピタル丸木（以下、SC）の発言及び会社側の回答のみを記載）

上場会社としての独立性がないこと

<SC>

以前から指摘しているが、当社には上場会社としての独立性はない。昨年と一昨年の当社取締役の株主総会における賛成比率は、親会社の日産自動車の賛成票を除くと一般株主の30%程度である。一般株主の7割が反対しているということだ。日産自動車の賛成票により、少数株主の意思は無視されて、親会社の日産自動車当社経営陣をコントロールしている。

そして当社の売上の98%は日産に対するものであり、当社は日産自動車の工場に過ぎない。利益率も悪く、上場している自動車・自動車部品企業約130社中、過去10年間ほぼ最下位だ。また直近でも、税引後利益が30億円、ROE1.7%である。今期予想もROE2%で、このままでは2年前に東証が全上場企業に要請した「資本コストと株価を意識した経営」にどう対応するのか。対応しようがない。現に対応できていないし、永遠に無理だ。日産自動車との交渉力がないから、このように利益率が低い状況が続いている。

最近減ったが、当社は日産自動車に対し巨額の資金提供を継続してきた。昨年末時点で903億円だったが、日産自動車の信用格付けがBB格相当まで落ちて、200億円程度にまで減少した。一番問題なのは直近の状況で、親会社の日産自動車の業績が悪化して5/13に「Re:Nissan 日産経営再建計画」が公表された後、当社の湘南工場が閉鎖されるとの報道が相次いでいることだ。日産自動車において、日産車体株式会社の頭越しに湘南工場閉鎖の検討が行われており、その情報が漏れたのだらうと理解している。5/29の日経電子版の報道によれば、「平塚市には日産自動車の執行職の方が訪れ、何も決まっていなかったと説明した」ということだ。なぜ平塚市への説明に日産自動車が行くのか。当社が行かないのか。湘南工場の閉鎖については、当社ではなく日産自動車が検討していたことを自白したようなものだ。以上の通り、当社に上場会社としての独立性があるとは思えない。

業界最大手のトヨタは、東日本大震災後の超円高の状況で、2011年にトヨタ車体株式会社などの上場企業を株式交換により完全子会社化した。現在の日産自動車はそれ以上に危機的な状況であり、湘南工場を閉鎖することも日産自動車の立場からは合理的かもしれない。しかしながら、我々を含む日産車体の少数株主を無視して、日産自動車が勝手に

日産車体の工場の閉鎖を決定しているのか、と思っているのである。

仮に、報道の通り湘南工場が閉鎖されれば、日産車体には九州における生産だけが残ることになる。アルマーダやパトロールはここで生産しているが、当社は九州工場を持っておらず、日産自動車の土地・建屋の中で日産自動車に販売する車両を製造しているだけである。土地とか建屋を持っていないというのは、先日富山社長に教えてもらった。当社は、そこでオペレーションをしているだけだ。

現在でも既に独立性が全くないが、仮に湘南工場閉鎖になると、当社は日産自動車の九州工場の一部を運営するにすぎない存在となる。そのような存在では、独立性のある上場会社として存在しえないことは誰でも理解できる。特定の1社に売上を依存している会社は新規上場出来ない。当社はなぜか大昔に上場してしまい、そのまま残っているだけだ。

当社経営陣は、直ちに日産に対して当社の完全子会社化を要請してほしい。私は、以前、日産車体の社員の皆さんを考えて吸収合併が良いと思っていた。日産の正社員と同じ待遇にしてもらいたいと思っていた。ただ、やりやすさから考えると、100歩譲って完全子会社でもいいと思う。そしてその際には、日産車体の取締役として少数株主のために、適正な対価が支払われるように交渉してほしい。特に、社外取締役や日産自動車のOBでない取締役におかれては、日産車体の少数株主の利益を守るために、日産自動車の子会社化に際しては、少数株主の利益保護についてよく交渉していただきたい。仮に日産自動車が、現金で我々少数株主の株式を買い上げるとしても、株式交換などで日産自動車の株式と交換するにしても、その対価が適正なものになるように交渉していただきたい。

まとめると、当社経営陣の皆さんにおかれては、もう上場企業としての独立性はないので、日産の子会社になるように日産と交渉し、我々少数株主の利益保護についても交渉していただきたい。

議決権行使については、第1号議案は棄権、第2号議案は鈴木氏のみ賛成で他の5名は反対、第3号議案は棄権として取り扱いたく。

<富山社長>

最終的には日産自動車の子会社になるのが自然ではないかということをお話しいただいた。日産自動車の考えについては、弊社としてはご質問に対して回答を差し控えさせていただきたい。

ただし、日産車体九州に関しては建物・土地は日産自動車だが、中に入っている設備は全て日産車体九州のものだ。

<SC>

大したポイントではない。

<富山社長>

設備がなければ車が出来不出来ということだけはご認識頂きたいと思う。もちろん社員も日産車体九州の社員だ。

ただしROEの話、一般株主の70%が反対されていることをふまえ、価格交渉に関しては、取引モニタリング委員会で社

外取締役の方は日産自動車と、その都度その都度交渉している。その交渉事で不利益になることはないと考えている。ただそれが足りないということであれば、今後課題としてやっていくつもりだ。

最後にもう 1 点。湘南工場についての報道、「日産自動車の上層部が平塚市にご説明に行った」ということに関して。「我々も行きましょうか」という話はしていたが、まずは日産自動車となっていた。その後我々の方から副市長・市長には話を
して「次回このようなことがあるのであれば、日産車体からお聞きしたいです」ということを言われた。そのようにコミュニケーション
が取れている。今は何もまだ決まっていなくてもしもということではあるが、順番は間違えないようにしていきたい。

採決

全ての議案を可決。

以上